

積水化成品工業株式会社

東京都新宿区西新宿2-7-1 〒163-0727
新宿第一生命ビルディングTel. 03-3347-9711
ir_pr@sekisui-kasei.com

www.sekisui-kasei.com

2026年4月20日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：古林育将）の、環境負荷低減に貢献する「エスレンブロック RNW」が、大成建設グループの大成建設株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：相川善郎）および大成ロテック株式会社（代表取締役社長：加賀田健司）が共同で運用する『大成建設グループ次世代技術研究所/幸手』（埼玉県幸手市）の管理研究棟に採用されました。

環境配慮型「エスレンブロック RNW」が 大成建設グループ次世代技術研究所/幸手に採用

－ 脱炭素社会の実現に向けた先進的研究拠点での実装が加速 －

1. 採用の背景

近年、建設分野では、脱炭素社会の実現に向けて、材料の調達から解体に至るライフサイクル全体でのCO₂排出量削減が求められています。大成建設グループが推進する次世代研究所は、建設および道路分野における脱炭素化を加速する研究・実証拠点であり、道路インフラに関わる材料開発から施工実証までを一体的に行い、技術の社会実装を目指す中核施設です。同施設の管理研究棟では、資材調達から施工・運用・解体までのCO₂排出量を可視化し、実質ゼロを目指す評価指標「T-ZCB[®]」*が導入されています。この管理研究棟において、当社の「エスレンブロック RNW」が、施工性と環境性能を両立する建設資材として評価され、本プロジェクトに採用されました。

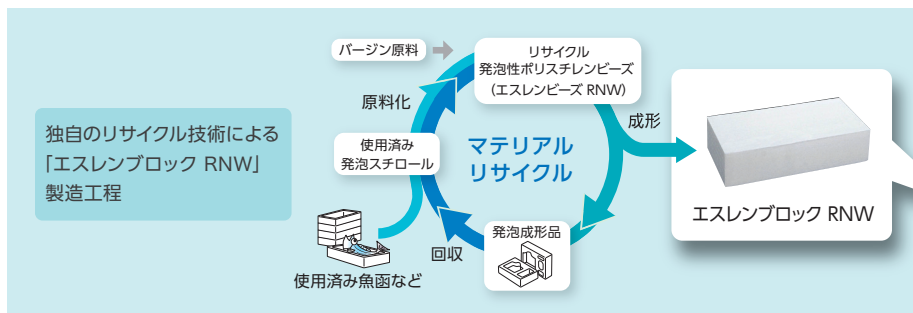


大成建設グループ次世代技術研究所/幸手

2. 特長

「エスレンブロック」は、軽量性・自立性・施工性に優れた特性を持つ軽量盛土材として、道路建設や護岸工事、軟弱地盤の対策などで広く使用されています。

今回採用された「エスレンブロック RNW」は、独自に開発した技術により使用済み発泡スチロールを回収・再生した原料を活用した環境配慮型製品で、従来品と同等の施工性・機能を維持しながら、製品ライフサイクルにおけるCO₂排出量削減に貢献します。



エスレンブロック RNWが採用

3. 今後の展開

今後も「エスレンブロック RNW」を、環境配慮型建設資材として積極的に展開するとともに、国土強靱化に求められる地震時の安全性確保、急速施工や構造物の軽量化といったニーズに対応するソリューションとして提案を強化します。

住環境・エネルギー事業領域では、「エスレンブロック RNW」および環境貢献製品群を中心に、建設分野における脱炭素化と環境負荷低減に積極的に貢献していきます。

*T-ZCB (Taisei Zero Carbon Building)：建築物のライフサイクル全体（調達・施工・運用・修繕・解体）におけるCO₂排出量と削減効果を可視化し、ゼロカーボン化を体系的に評価する大成建設独自のシステム。

https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/2022/220909_8933.html